

メ ッ セ ー ジ

昭和20(1945)年8月6日に広島へ、8月9日に長崎へ原子爆弾が投下され、一瞬にして多くの方が亡くなりました。生き残った被爆者の方は、今もなお苦しみ続けています。このような悲惨な状況を生み出す核兵器や大量破壊兵器、そして戦争が二度と繰り返されないよう、わたしたちは戦争のない平和な世界を願っています。

原水爆禁止2019年世界大会の取り組みにより、多くの世界の人々や次世代の人々に被爆者の願いが届き、核兵器のない平和で公正な世界に向け、一步、一步、進み続けることを願っています。

また、わが大竹市においても、微力ながら平和へのおもいを発信し続け、世界恒久平和の実現に向けて共に取り組んでいきます。

令和元(2019)年8月

大竹市長 入山 欣郎